

令和元年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 遂行状況・活動状況報告書

事業名:健康住宅工法「グリーンエア工法」の開発(H27-28)**団体名:彩の木の家ネットワークグリーンエア工法開発グループ****事業の目的・内容**

この事業の目的は、柱をとった後の「丸み材」の有効利用により、木取りの歩どまり率を上げることで、木材の有効利用を進めることです。また、接着剤を使用した構造用合板を使用せずに合板と同様の耐力を実現する斜め張り工法の開発を目指しています。

**今までの活動状況****<平成 27 年度>****秩父産「丸み材」を活用した健康住宅工法「グリーンエア工法」の開発**

「床斜め張り工法」の斜め張り部材（幅 120mm×厚 30mm×長 4000mm）について、柱をとったあとの秩父産「丸み」材（幅 105mm×厚 30mm×長 4000mm）を活用した試験体を 3 体制作し、せん断破壊試験を実施し、耐力データを収集しました。

<平成 28 年度>**グリーンエア工法の開発（その 2）秩父産適寸丸太による中温乾燥材の開発**

付加価値向上が期待できる平角材(*)を対象に適寸丸太による中温による試験乾燥を実施し、吸放湿性、香り、表面構造への影響、割れ、含水率、ヤング率などの品質を検証しました。

<平成 29 年度>

斜め張り工法の開発については、試験結果の報告会開催 1 回及び工法改善のための研究会の開催開催 2 回（於て：職業能力開発総合大学校）。また、斜め張り工法の手引きを作成し、登録工務店の募集を開始。さらに、グリーンエア工法を使用したモデル住宅の開発に着手しました。

<平成 30 年度>

グリーンエア工法を使用した住宅モデルのカタログを作成し、一般消費者に配布を開始。また、設計事務所向けに工法説明セミナーを実施（1 回）しました。

斜め張り工法の改善のための研究会を開催（1 回）し、屋根斜め張り工法の改良（屋根断熱型厚板直張り現し工法）に取り組みました。

<令和元年度>

斜め張り工法を使用した住宅 2 棟が竣工しました。

**これからの活動・行事**

- ・グリーンエア工法を採用した住宅の建設に取り組みます。
- ・工務店向けにグリーンエア工法の普及に取り組みます。
- ・地域材の活用に向けた活動に引き続き取り組みます。